

教えて!知ってトクする法律の話 第13号



軽いいたずらのつもりでやった体当たりや膝カックン、椅子引きでも、相手が転んでしまい、 打ちどころが悪かった場合、大きな事故につながります。たとえば、

- ✓ 骨折
- ✓ 失明
- ✓ 身体のまひ など



大怪我をしてしまったり、怪我が治っても<mark>後遺症</mark>が残って寝たきりになったり、

場合によっては死亡してしまう可能性もあります。

森•濱田松本法律事務所

さらに…

いたずらのつもりで危険なことをした結果、

ではいたり、損害賠債を請求されたりする可能性があります。
「おもしろいと思った」、「ふざけていた」、は言い訳になりません。
怪我をさせるつもりがなかったとしても、重大な事故につながり、
犯罪が成立したり、高いお金を相手に払わないといけない可能性があります。

- ・たとえば、相手に怪我をさせる行為は、 しょうがいざい 傷害罪
- 相手が怪我をしなくても、怪我をさせる危険性のある行為は、暴 行 罪

にあたる可能性があります。

その他の犯罪行為の例:



学校において生じる可能性がある犯罪行為等について(文部科学省)

軽い気持ちのいたずらでも、 相手に怪我をさせるつもりはなくても、

相手や自分の人生を変えてしまう、重大な事故につながることがあります。 やろうとしていることが実は危険な行為ではないか、

事故が起きる前に、考えてみてください。

<u>自分の行動がどのような結果を与えるかを考えて、より良い学校</u> 生活を送りましょう!

担当:小林 花梨、川崎 佑太、平田 亜佳音、田代 潤奈、山岡 祐貴

森•濱田松本法律事務所